

あじけん中庭の七夕の短冊。「実習生の皆さんの日本語が上手になりますように・・・」

あじけん通信

2013 JULY
VOL.67

株式会社ティビィシー国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

7月に入り、梅雨明けと同時に連日の真夏日。この猛暑に東南アジアからの実習生の皆さんも「にはんは、とてもあついです」と言って悲鳴を上げている状態です。早くも「夏バテ」気味の実習生も出てきています。授業で毎朝行なわれている「朝の会」での健康チェックでも、朝食抜きの実習生や、暑さのため睡眠不足の実習生が少なくありません。

また、この季節は、熱中症への対策や、食中毒への気配りも必要な時期。日本の暑さを無事に乗り切る術を身に付けることも、大切な講習内容のように思えてきます。実習生の皆さんが、この酷暑？に上手く対応し、心身ともに充実した状態で、日本語学習に取り組めるように、スタッフ一同、全力でサポートしていきたいと思います。

あじけんスコープ Vol.12 ～あじけん講師ファイル～

今回と次回のあじけんスコープでは、今年に入り新たに当校の日本語講師に加わった力強い新メンバー2名を皆様に紹介させて頂きたいと思います。

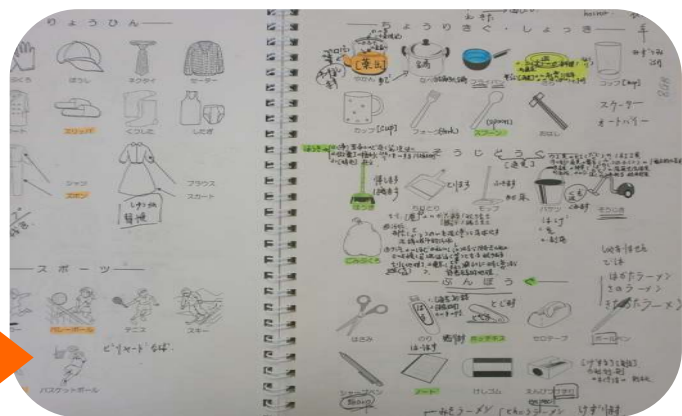
初めまして。矢野順と申します。5月から本校で技能実習生に日本語を教え始めて2ヶ月が経ちました。以前は地域生活者（定住者の外国人）に対する日本語教育を主に行なっていましたが、実習生の皆さんと日本語を勉強してみて、皆さんのパワー、若さに圧倒されています。また、初めて来た国日本への好奇と期待に満ちた目も印象的でした。本校で学ぶ実習生の皆さんは、国籍や技能実習の業種も様々で、学習しなければならないことは多種多様です。しかし、そんな皆さんが、本校で日本語を学習できる時間は限られています。実習生の皆さんにとって、本当に必要な知識や、情報を取り入れながら、授業を進めたいと考えています。

まだまだ試行錯誤が続くと思いますが、経験豊富な先輩講師の方々の協力を得ながら頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



矢野 順 (やの じゅん) 先生

今月の実習生



今月の実習生は中国人実習生の王群（オウ グン）さんです。王さんが手に持っているのは本校で使用している『技能実習生の日本語基本語彙集』。中を覗くと、効率よく単語を覚えるために独自の色分けがしてあり、細かい書き込みを加えてあります。これは学生時代に学校で英語を勉強していた時からの習慣とのこと。色分けの主な分類は、覚えづらい単語・発音が難しい単語等だそうです。また、細かく書き込みをすることで、単語の意味が頭に入りやすくなるそうです。

あじけん流日本語授業

～プロジェクトワークを取り入れた活動・最終回～

今回は、本校が実践しているプロジェクトワークを取り入れた活動を紹介する最終回。フィードバック（下記カリキュラム7）についてお話させていただきます。

フィードバックは、司会進行の実習生（リサーチ学習の責任者）を中心に、カリキュラム6で行なった実習生たちのリサーチ学習の発表会の様子を録画した映像を用いて行われます。内容は、各グループのプレゼンテーション（主にジェスチャー・発音・表現力）について、良かった点・改善が望まれる点などが話し合われます。ここでは、

① 自分たちの日本語での発話力を映像を通じて客観的に捉え、今後の継続学習の指標とする。

② フリーディスカッション形式の会話活動を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。

ことが主な目的とされています。また、この時「〇〇さんの声は小さかった」とようなネガティブな言い方を避けさせて、「もう少し声が大きければ、もっといい発表になったと思う」と言った聞き手の心情を思いやったポジティブな表現を使うことを、話し合いのルールとすることで、相手の気持ちに配慮した発話が習得できるような考慮もなされています。



フィードバックの司会進行を行なう実習生



クラスメイトからフィードバックを受ける実習生

《プロジェクトワークカリキュラム》

1	オリエンテーション（1時間）
2	リサーチ内容についての話し合い（2時間）
3	グループ別リサーチ活動（6時間）
4	発表資料の準備・作成（3時間）
5	発表リハーサル（3時間）
6	リサーチ発表会（2時間）
7	ビデオを用いたフィードバック（3時間）



ビデオを視聴する実習生

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます